

この製品は、こんな問題を解決しています！

今回この「ロッカー用スマホ収納具」を作成するに至ったのには1つの大きな理由がある。それは、スマホの管理状況の改善をすることである。スマホは普段授業で使わない限り朝から放課後までロッカーにしまっておくことになっていて、僕を含む多くの生徒がバックの中にスマホを普段からしまっている。スマホのヘビーユーザーの生徒は入れている間にモバイル充電器に差したままバックの中に入れる。そこで問題となるのがその収納環境だ。

生徒用のロッカーは広くなく、全てのものを最も効率よくつめてピッタリ入るほどである。すると、バッグの中に入っているスマホは圧迫され、その状況が続いてしまうと画面が割れたり、スマホ事態に異常が起きてしまったりして、安全に収納をすることができない。そこで考えたのがこの「ロッカー用スマホ収納具」である。

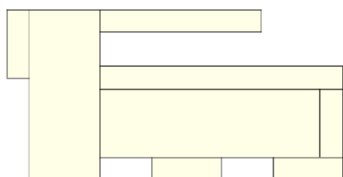
この製品には、こんな特徴や機能があります！

この作品には主に2つの工夫を凝らした。

1つ目に、この収納具自体をロッカーにかけるような形態にした点である。僕たちのロッカーは一番下から30cm程が空いており、仕切りとして金属素材の板が設置されている。しかし、その板を活かすことがなかなか難しく、生徒たちも困っていた。そこでそのような板でも引っ掛けることができるようにコの字型に設計し、それが外れないようにしっかりと補強も行った。また、コの字型にすることでロッカーの扉にある棒を使って引っ掛けることも可能である。

2つ目に簡単に取り出したり、中にいれたりできる点である。僕たち生徒は多忙な時間割に追われていて、なかなかゆっくりとする機会が少ない。授業の準備などをお喋りで後回しにしてしまっていて急いで1分前に準備をするのも珍しくない。そんな時に、スマホという140mm×70mmくらいの板状の機器を収納するのに、バッグを入れる場合であると最低でも30秒はかかる。チャックが引っかかったなどのトラブルがあれば授業のチャイムと同時に座らないといけない可能性もあるだろう。しかし、この「ロッカー用スマホ収納具」を使用すれば見ての通り入れる口に何も遮る物がないため、ダイレクトにスマホを収納する事ができる。これなら最短5秒でできるほど簡単である。

今紹介したような機能以外にも、1×1を使って補強をしていたり、下の板にあえて隙間を開けて枠の構造にすることでコストを抑えるとともに補強を行ったりと様々な工夫を凝らしている。ぜひ、今一度利用していただきたい。



←ロッカー用スマホ収納具の側面図

ロッカー用スマホ収納具の等角図→

